2017年春の年会

男女共同参画委員会セッション

多世代ロールモデルで描くキャリアプラン
－活躍する先輩女性からの働き方アドバイス－

Draw your career plan by multi-generation role models.
-Advice on how to work from senior active female women-

男女共同参画委員会（以下、「本委員会」）では、従来から原子力・放射線分野への女性の参画を促し、日本原子力学会の女性比率改善に向けた取組みを行っている。

2016 年秋の大会の本委員会の企画セッションでは、これまでの本委員会の活動成果を報告し、得られた知見を会員と共有する内容として実施したが、本委員会で作成したロールモデル集についての紹介も行った所、若手の女性聴講者から「原子力関連産業で働く中で、ロールモデルとなる先輩方の存在は精神的支えとなる。特に、各世代の先輩方から年代を経るごとのキャリア形成の具体的なイメージを頂けると良い。また、ロールモデルとなる先輩方と人的ネットワークの構築ができると良い」という主旨の意見も聞かれた。

また、女性会員同士のネットワーク形成については、2016 年秋の大会より前の企画セッションに参加した女性聴講者からも多く要望が聞かれており、比較的高いニーズであると考えられる。

このような現状を踏まえ、今回の企画セッションでは、原子力・放射線分野の女性従事者について、原子力関連専攻の学生から管理職クラスまで、各世代からパネリストを選出したパネルディスカッションを行うものとする。

パネリストは以下の方々を予定している。

（パネリスト１）東京都市大学　田治見祐里　氏
（パネリスト２）日本原子力研究開発機構　筒井菜緒　氏
（パネリスト３）東芝　渡邉　和　氏
（パネリスト４）株式会社双映及び前本委員会委員長　小川順子　氏

このパネルディスカッションにおいては、パネリストの現在の業務や過去のキャリア形成の過程、仕事と家庭両立の状況などを簡潔に講演して頂き、聴講者へのロールモデル提示となるようにする。また、質疑応答・意見交換も行い、パネリストとの交流が図れるようにし、本企画セッションが人的ネットワーク構築の一契機となるようにする。

以上